



社会情動的スキルの発達的变化、学校教育における育成方法、 学力やウェルビーイングなどへの効果に関する研究

1. 研究の先にある新たな未来とは？

質の高い教育を行っている教師や学校は、現在でも存在しています。しかし、それらの教育は、経験や勘に基づいていることが少なくありません。質の高い教育に共通するエッセンスが明らかになれば、エビデンスに基づいて質の高い教育を実践することができ、ひいては、自分の未来を切り拓く力の育成や、ウェルビーイングの向上につながることを期待されます。



2. どんな研究をしている？

他者と協働する力や感情を制御する力など、学力テストや知能検査では測定されない心の性質（社会情動的スキル）の重要性が、改めて認識されてきています。本研究拠点では、将来の学力やウェルビーイングに寄与する社会情動的スキルを特定し、それらのスキルを学校教育において育成するための方法について研究しています。

3. その研究をしようと思ったきっかけは？

どう勉強したら良いかわからず、悩んだり苦しんだりしている子どもに多く出会い、学ぶための力が十分に育成されていないことに問題意識を持ったことから、学ぶための力を育成する方法に関する研究に取り組んできました。本研究拠点は、これまでの研究を学習場面以外にも広げたものであり、学校教育の中で十分に育成されていない様々なスキルに関心を向けています。

社会情動的スキル研究拠点

拠点長：鈴木 雅之（教育学部）



詳細はこちら



いいね！を貼ろう